

高効率バイオマスボイラー製品仕様

水冷式二重構造のため燃焼中でも外壁は高熱を持たず安全で大量の給湯が可能です。
ダイオキシン・硫黄酸化物、窒素酸化物、塩化水素、煤塵の排出量は国の基準値以下です。
高熱ブローアの噴出で着火から5～10分で800℃～1300℃の高温でスピード燃焼し、ダイオキシン類を出しません。
高性能集塵サイクロン(実用新案)により煤塵が吸引され無煙化・無公害です。
燃料投入口は遮断板設置の二重構造で安全です。また、燃焼温度測定口より常に燃焼温度が監視できます。
Sus304(18-8ステンレス)オールステンレス製なので耐酸、耐アルカリ性で耐久性は鉄製の5倍以上で長寿命です。

高効率バイオマスボイラー仕様概要

型式	8 0 0 型
最大定格出力	860,000 kcal/h
実効安定出力 (70%)	672,000 kcal/h
最大定格出力時燃料消費量	
木材 / 3,000 kcal/h	最大消費量 320 kg/h
木質チップ / 3,000 kcal/h	最大消費量 320 kg/h
RPF / 7,000 kcal/h	最大消費量 131 kg/h
実効安定出力時燃料消費量	
木材 / 3,000 kcal/h	最大消費量 224 kg/h
木質チップ / 3,000 kcal/h	最大消費量 224 kg/h
RPF / 7,000 kcal/h	最大消費量 96 kg/h
幅 x 長さ x 高さ (サイクロン含む)	1,900 x 2,900 x 2,750 mm
全体高さ (排気管含む)	5,650 mm
重量	1,520 kg
火床面積	0.5㎡
入水管径/配水管径	既存設備配管に合わせて配管
保有水量	約1,200 ℓ
給湯能力	約6,500 ℓ /h
供給温度	~90℃
自動着火バーナー	○

排煙実測値：木くず、紙、ダンボール、ゴム、ナイロン等
(排煙濃度基準値クリア)

	国の基準値	排煙実測値
ダイオキシン	5ng/㎡	0.11ng/㎡
ばいじん濃度	0.15g/N㎡	0.91g/N㎡
硫黄酸化物排出量(Sox)	1.1ng/㎡	0.03ng/㎡
塩化水素濃度	700mg/㎡	31mg/㎡
窒素酸化物排出量(Nox)	250mg/N㎡	86mg/N㎡

- ◆ 平成14年12月施行構造基準適合
- ◆ 廃棄物処理法施行規則：構造基準部分設備適合(ダイオキシン対応)
- ◆ 許認可不要、届出のみ
- ◆ 水冷式燃焼炉/温水ヒーター(二重構造/内側＝燃焼炉、外側＝水缶)、無圧解放式:Sus304(18-8ステンレス)オールステンレス製
- ◆ 着火バーナー：AC100V/3相200V対応、消費電力0.5kw
- ◆ 温度測定口付
- ◆ 燃料投入口二重構造。(通常投入口・遮断板付)
- ◆ 火床面積50cm未満
- ◆ 焼却能力50kg/h未満
- ◆ 燃焼温度800℃～1300℃
- ◆ 水缶貯水量約1.2㎡
- ◆ 給湯量6.5㎡/h
- ◆ 送風・吸引ブローア：AC100V/3相200V対応(消費電力・送風：2.3kw、吸引：1.7kw)
- ◆ 燃焼炉内水缶温度計付
- ◆ 投入可能燃料：建築廃材、間伐材、木材、木質チップ、木質ペレット、RPF他固形可燃物/湿度10%未満のもの)
- ◆ 自動燃料供給装置：鉄製、燃料供給自動コントロール装置付
- ◆ 集塵サイクロン：サイクロン式集塵装置により粉じんを吸引して粉じんの排出を抑制(実用新案)
- ◆ 循環保温タンク(三重構造)：内壁＝Sus304(18-8クローム)オールステンレス製、外壁＝鉄製
- ◆ 給湯温度コントロール制御盤

循環貯湯タンク仕様概要

型式	4 0 0 型	8 0 0 型
貯湯能力	約4,800 ℓ	約7,800 ℓ
貯湯/供給温度	~90℃	
構造	三重構造：内壁＝Sus304(18-8ステンレス) オールステンレス製	

オプション装置仕様概要

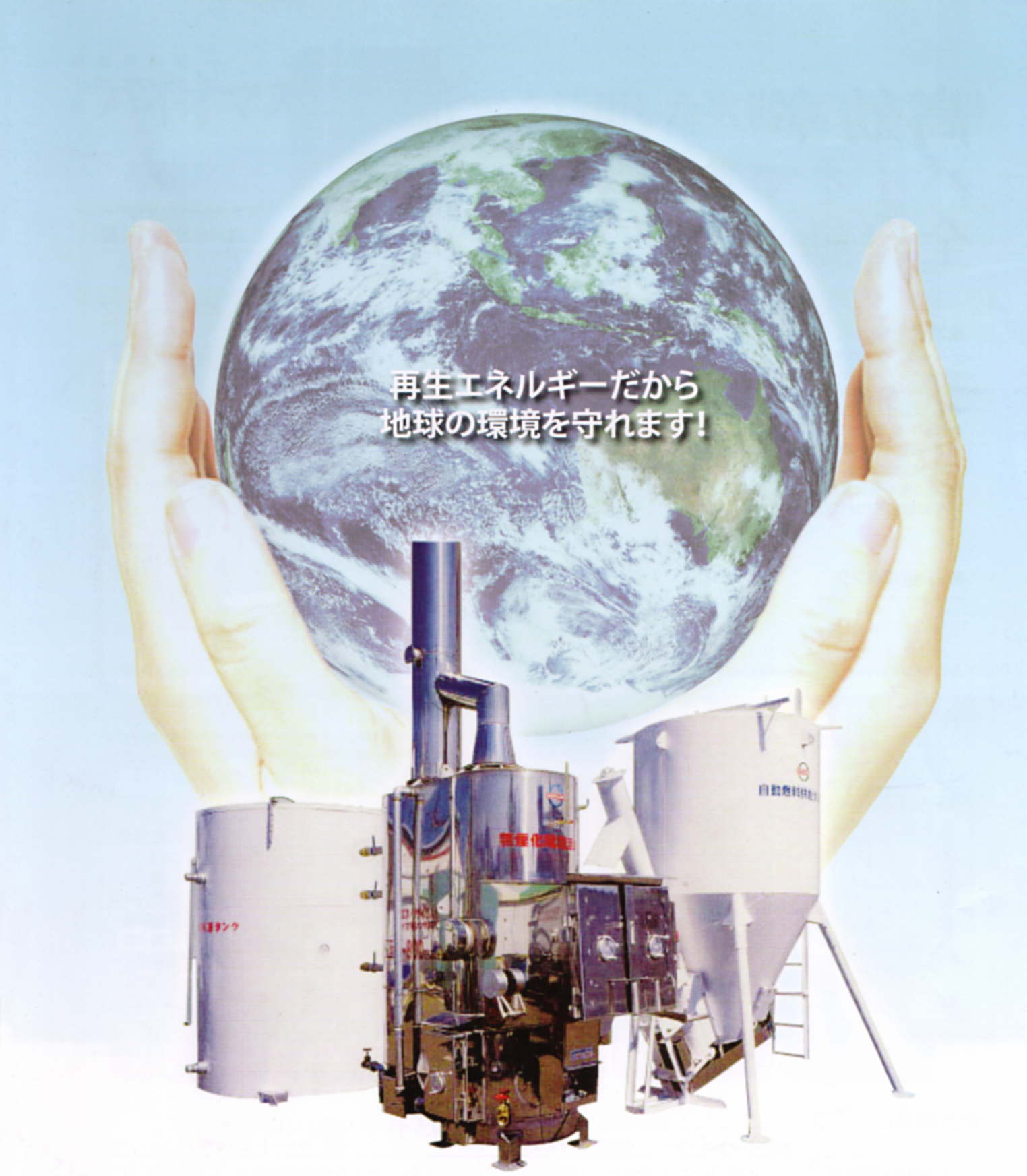
品名	仕様
自動燃料供給装置	スクリーコンベアー式 (供給コントロール制御盤付)
燃料供給タンク	供給タンク内容積：2.0t、4.5t、6.2t、8.0t
燃焼炉内自動燃料供給装置	スクリーコンベアー式
焼却灰受皿BOX型引出装置	

参考：8 0 0 型フルスペック設置スペース

800型＋循環貯湯タンク(800型)＋燃料供給タンク／燃料供給装置
(幅)8.35m x (奥行)2.70m

参考：燃料コスト
(熱量1,000kcal当たりの価格を比較)

燃料	購入価格	コスト
木質ペレット	25～30円 (25円)	4.97円
重油	69円/ ℓ	7.42円
灯油	97円/ ℓ	11.06円
軽油	108円/ ℓ	11.83円



高効率バイオマスボイラー

国連排出権「カーボンオフセット認証製品」



一般社団法人 日本低炭素機構

〒110-0015 東京都台東区東上野1-8-2 オーイズミ東上野ビル6階
TEL：03-5812-4031 FAX：03-5812-4032
<http://japan-lowcarbon.or.jp>

COJ

CARBON
OFFSET
JAPAN

当社はカーボン・オフセットという手段で地球温暖化防止に取り組むCOJ会員です。

高効率 バイオマスボイラー 全自動システム

国連排出権
カーボンオフセット
認証製品

水冷式燃焼炉
オールステンレス製 Sus18-8

燃焼炉(800型)は外壁と内壁の二重構造で、空間が貯水槽になっています。燃焼炉内の温度が800~1,300℃の高温で燃焼しても外壁は高温にならない「水冷式」です。貯水槽には常に約1.2m³滞留し、毎時最大約6.5m³/最高温度約90℃の温水を供給いたします。

貯湯・循環タンク

スクリーコンベアー
燃料自動供給装置

燃料供給タンク

Fire Qoot (給湯ボイラー)
Full Auto System 概略図



他社製品との比較

	A社ペレットボイラー	B社バイオマスボイラー	ファイア・キュート 800型
給湯能力/時間	2トン	2トン	6.5トン
供給温度	~60℃	~60℃	~90℃
燃料	木質ペレット	木質ペレット・チップ	木質可燃物すべて/RPF/プラスチック/他可燃物
燃料消費量/時間	90kg	70kg	60kg
燃料供給方法	自動	自動	手動/自動どちらも可
焼却灰取り出し	手動	手動	手動
設置場所	屋内	屋内	屋内・屋外どちらも可
カーボンオフセット	○	○	○(木材燃料使用時)
耐久年数	約10年	約10年	約15年
取扱資格	不要	不要	不要

バイオマスエネルギーを活用した次世代型給湯器

経費削減

石油燃料ボイラーやペレットボイラーに比べて、基本的に可燃物は何でも燃料となりますので、燃料費は、大幅なコストダウンが可能です。重油やガスをバイオマス燃料に切り替えるだけで1/2~1/5に削減できると言われています。RPFでは更に低コストが見込まれます。

炭酸ガス排出〜ゼロ

バイオマス燃料は、水や炭酸ガスから光合成によって生まれたものです。ボイラーで燃焼しても元の水と炭酸ガスに戻るだけです。地球環境で考えたとき二酸化炭素量は増えません。

ゴミ排出も軽減

発泡スチロール以外の可燃性廃棄物のほとんどを燃やせます。これにより事業所から出るゴミの量も削減できます。

ボイラー技士不要

水冷式燃焼炉は無圧開放式で高圧スチームが発生しません。したがってボイラー技士資格は不要です。

設置工事

設置工事は2日と短いです。また、今お使いの配管系はそのまま使用し、ボイラーなどは撤去せず予備としてお使いいただけます。

助成金

バイオマス導入時補助金申請も可能です。(別途費用にてご相談に応じます)

バイオマス燃料として使用できる物



カーボン・オフセットとは



日常生活や経済活動において避けることができない温室効果ガスの排出について、まずできるだけ排出量が減るよう削減努力を行い、どうしても排出される温室効果ガスについて、その排出量に見合った温室効果ガスの削減活動に投資すること等により、排出される温室効果ガスを埋め合わせるという考え方です。

カーボン・オフセット認証制度は、カーボン・オフセットの取組に関する信頼性を構築するために、環境省の策定した第三者認証機関による認証基準に基づき、平成21年4月30日設立された制度です。

適切なカーボン・オフセットの取組に対して、カーボン・オフセット認証ラベルの使用を認めるとともに、オフセット・プロバイダーの活動の透明性を確保することにより、信頼性の高いカーボン・オフセットの取組の普及を図り、国民による温室効果ガス排出量の認識及び一層の削減努力を促進することを目的としています。

(環境省・地球環境・国際環境協力HPより抜粋)